

日本伝熱学会関西支部 第24期 第3回講演討論会 開催報告  
(日本伝熱学会 熱流体イノベーション研究会との合同企画)

日 時：2017年12月22日(金) 13:30-17:00

講演討論会会場：龍谷大学セミナーハウス「ともいき荘」2階研修室

意見交換会会場：龍谷大学セミナーハウス「ともいき荘」食堂

講演討論会参加者：44名、意見交換会参加者：33名

13:30 – 14:15

「原子炉内の混相流現象の数値解析」

伊藤 啓 氏 (京都大学原子炉実験所)

原子炉内で起こるような複雑な混相流の界面運動を対象として開発された非構造格子系における界面追跡法に基づく数値解析手法について解説頂き、界面変形挙動、界面物理挙動、計算コスト等についての検証結果に加えて、ガス巻き込み現象についての解析結果を紹介頂きました。

14:15 – 15:00

「プレート式熱交換器内の現象理解に関する数値解析の活用」

樋渡 功 氏 (株式会社日阪製作所 熱交換器事業本部)

プレート式熱交換器について詳説頂いた後、その設計時における改善点の抽出や実使用時におけるスケール付着メカニズムの理解に数値解析を活用した事例等を紹介頂き、熱交換器の最適設計における数値解析による熱流動現象把握の有用性について講演頂きました。

15:20 – 16:05

「ナノスケール3次元構造解析が拓く固体酸化物形燃料電池研究の展開」

岸本 将史 氏 (京都大学大学院工学研究科)

固体酸化物形燃料電池(SOFC)およびその多孔質電極について概説頂くと共に、多孔質電極微細構造のナノスケール3次元直接観察および関連技術について技術確立までの苦労話を交えて紹介頂きました。さらに、3次元構造解析の実例および今後のSOFC電極開発への展開について講演頂きました。

16:05 – 16:50

「積水ハウスの気候変動への取り組み」

寺西 一浩 氏 (積水ハウス株式会社 環境推進部)

国連気候変動枠組条約締約国会議における地球温暖化防止策としての脱炭素化に向けた最新の世界的な流れについて解説頂き、GABAC (Global Alliance for Buildings and construction)、積水ハウスの建設部門における脱炭素化の取り組み、ESG (環境・社会・ガバナンス) 投資と気候変動の関わり等について紹介頂きました。

講演討論会終了後、ご講演者の皆様をお招きして、「ともいき荘」食堂にて活発な意見交換会を行いました。



集合写真



伊藤 啓 氏



樋渡 功 氏



岸本 将史 氏



寺西 一浩 氏